

2011年5月30日

報道関係各位

株式会社札幌ドーム
(札幌ドーム指定管理者)



札幌ドーム開業10周年記念

「Sapporo サンセット・ジャズ in DOME」の実施について

～7月2日(土) 高さ53メートル・夕陽を望む札幌ドーム展望台にて実施～



株式会社札幌ドーム(以下当社)では、2001年6月2日に開業した札幌ドームが今年で開業10周年を迎えることを記念し、札幌ドーム展望台にて「Sapporo サンセット・ジャズ in DOME」を実施いたします。高さ53mの札幌ドーム展望台にステージセットを組み、手稲山に沈む真っ赤な夕陽をバックに開催される、北海道のジャズ界をリードする新進気鋭のミュージシャン達が出演するジャズ・コンサートです。

詳細を下記のとおりお知らせいたしますので、各方面への告知にぜひご協力をお願い申し上げます。

(1) 日時

7月2日(土) 17:30開演(開場16:30予定)

(2) 場所

札幌ドーム展望台

(3) 出演アーティスト

TAKUMI AWAYA Quartet+2

札幌在住の実力派若手ベーシスト・粟谷巧をリーダーとする、竹村一哲(dr)、富樫範子(p)、長沼発(gt)のジャズカルテットに、ゲストとして北海道を代表するサクソ奏者・奥野義典と甘いボーカル・玉村優香が加わり、札幌ドーム展望台にて素敵なジャズを演奏いただきます。

(4) コンサート内容

【第1部:札幌の空にブルースを】(17:30～)

澄み切った札幌の空にふさわしい、美しいジャズナンバーを中心に演奏されます。
また、メンバーが作曲したオリジナル曲も披露されます。

【第2部:心ときめくサンセット・ジャズ】(18:30～)

コンサート当日(7月2日)の日没時刻は19時18分。手稲の山なみに真っ赤に沈む夕陽に合わせて、「Summer Time」「Misty」「All of me」など、心ときめくおなじみのスタンダードナンバーが演奏されます。

なお、このコンサートは今後、年2回程度開催予定です。

毎回必ずオリジナル曲を発表し、若手アーティストによる札幌の新しいジャズの創造を目指します。

(5) チケット料金

お一人様2,500円(150席限定・ワンドリンク付き)

(6) チケット発売日・お問い合わせ

札幌ドームメンバーズクラブ先行発売 6月6日(月)10:00～

一般発売 6月8日(水)10:00～

【店頭】札幌ドーム総合案内チケット窓口(北ゲート3横/営業時間10:00～17:00)

【電話】札幌ドーム コールセンター(TEL. 011-850-1000/営業時間9:00～17:30)

※チケットは、お1人様4枚までご購入いただけます。

※受付後のチケットの変更およびキャンセルはお受けできません。

※未就学児童のご入場はできません。小学生からチケットが必要です。

※大変恐縮ですが、ご取材いただける場合は下記まで事前にご連絡願います。

<資料編>

出演者プロフィール／TAKUMI AWAYA Quartet+2

栗谷 巧(bass)

北海道北見市出身。11歳より父のアマチュアジャズバンドで活動。
2004年から札幌を拠点に福居良(p)トリオレギュラーベーシストとして活躍中。
2010年、Benny Green(p) Greg Hutchinson(dr)とトリオで全国ツアー。
2011年、巨匠 Barry Harris と共演。5月、竹村一哲(dr)と渡辺貞夫(ts)のラジオ番組で共演。
現在最も期待される若手ベーシスト。

竹村 一哲(dr)

1989(平成元)年札幌市生まれ。9歳からドラムを始め、主にロック、フュージョン等を演奏する。
2006年、石田幹雄トリオで『横濱 JAZZ PROMENADE』ジャズ・コンペティションに出場、
グランプリと市民賞のダブル受賞。同トリオで CD 発売。他にも参加アルバム多数。
渡辺貞夫や板橋文夫のバンドメンバーとして全国ツアーに参加。今年1月 Barry Harris との共演。
幅の広い音楽性とミュージシャンからの信頼の厚い新進気鋭の若手ドラマー。

富樫 範子(p)

札幌大谷短期大学 音楽科卒業。ヤマハ音楽教室ピアノ・エレクトーン講師、結婚式場のオルガニストを経て、
現在、音楽教室『ぴあの Lesson Room Dolce』主宰。札幌市内のライブハウスやカフェなどで演奏活動もしており、
スタンダードからオリジナルまで幅広い音楽性をもつ素晴らしいピアニスト。

長沼 発(gt)

1985年北海道生まれ。高校卒業後に渡英。Leeds College of Music にてジャズギターと作編曲を専攻する。
学内で最も優秀なギタリストに贈られる“Eric Kershaw Prize for Plectrum Guitar”を受賞。
卒業後、現在は札幌を中心に、道内での演奏活動に加え、市内各所のスクールにて講師も務めている。
アコースティックな音色による表現にこだわり、スタンダードやオリジナルなど、ストレートアヘッドなジャズの
スタイルでの演奏を中心に活動している。

玉村 優香(Vo)

札幌出身。19才で語学と音楽の勉強のためにオーストラリアへ留学。シドニーにて、恩師となるジャズシンガーに
出会い、歌う楽しさに触れ、ジャズが好きになる。以降、カナダやアメリカ、ニュージーランドへも足を運び、現地の
優れたミュージシャンとの交流も深く、精力的にレッスンやライブを経験。
現在は、毎週水曜日にハーフノートのステージにレギュラー出演。澄んだ歌声と聞き手を惹きつける素晴らしい表現
力をもつ最も期待されるアーティスト。

奥野 義典(Sax)

1962年小樽市出身。弘前大学 JAZZ 研究会にて SAX を手にし音楽活動を始め、その後上京。松風鉦一氏に師事。
1997年、日本最大級のジャズイベント“横浜ジャズプロムナード”に初出演。
「北海道に奥野あり」と日本のトッププレーヤーからの信頼も厚い。他ジャンルのアーティストとのパフォーマンスなど、
活動の幅を拓けている。アルトサックスをメインにソプラノ、テナーサックス、フルートと吹き分けるマルチリード奏者
でもあり、北海道にあってトップレベルの演奏活動を続ける希有で貴重なアーティストである。2007年9月、タップ・
ダンサー熊谷和憲・ヤヒロトモヒロとの～Tap the Music・北海道ツアー～にも参加、好評を博した。
リーダーアルバム『赤い月』(2008年)『ライブイン・アケタ／奥野義典スペシャル』(1998年)『奥野特別／HEAVEN
HILL』(2001年)をリリース。
2010年、札幌シティジャズ実行委員会プロデュースによる CD「DRIVING JAZZ HOKKAIDO Second impression
LAKE」に自己のグループで参加、収録。他、『ファーダ II / パロシクス』(2005年)『月と大地と森の語らい／庄司
昭夫 DAGUDA』(2005年)『天空のうた／庄司昭夫 DAGUDA』(2007年)にも参加。